

高すぎる国民健康保険料の 引き下げを求める請願

【請願趣旨】

高すぎて払えない国民健康保険料を安心して払える額に引き下げてください。

2022年から国の施策で小学生未満の子どもの均等割が「半額」になりましたが、まだまだ不十分です。岡山市が対象を高校生まで拡大するとともに「免除」にしてください。

引き続きコロナ禍で多くの市民が苦しんでいます。岡山市は2021年から保険証の取上げ（資格証の発行）は止めました。保険証がなくて病院に行けないという最悪の事態は避けられることとなりました。しかし、高すぎる国保料のため多くの世帯で「滞納」を余儀なくされています。一刻も早く払える国民健康保険料への引き下げが必要です。

【請願事項】

一、高すぎる国民健康保険料を引き下げてください。

氏 名	住 所

(住所・名前など個人情報以外の情報は目的以外には使用しません。)

連
絡
先

岡山市社会保障推進協議会

〒700-0905 岡山市北区春日町 5-6 県労おかやま内 ☎086-234-2041

取扱い団体

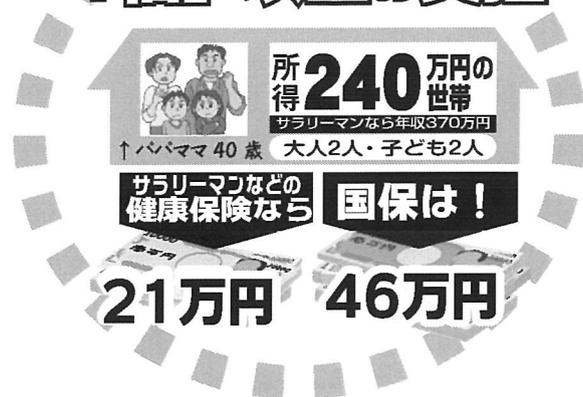
高すぎる国保料を 払える国保料に

高すぎる国保料を 払える国保料に

国民健康保険料は、サラリーマンなどが加入している健康保険組合の保険料の計算方法と違って、「世帯」や加入人数に応じて保険料（均等割）も科せられるため、同じ所得でも倍の保険料になってしまいます。

そのため、岡山市でも国保加入世帯の8世帯に1世帯が保険料を滞納せざるをえない状態となっています。

同じ所得でも
「倍」以上の負担



子どもの均等割を高校卒業まで「免除」へ

2022年から、国の施策で子育て世帯への国民健康保険料の引き下げが始まりました。就学前の子どもの均等割が「半額」になり、4人家族の世帯では年約3万6千円の引き下げです。しかし、これではまだまだ不十分です。小学校や中学校になれば再び国保料が引き上がります。

私たちは、せめて18歳までの「免除」を求めています。全国でも独自に18歳まで免除している自治体も増えています。私たちの試算では、岡山市が独自に約2億5千万円負担すれば実施できます。

資格証の発行が中止に やったね!

私たちが、毎年取り組んでいる「高すぎる国保料」の引き下げを求める署名や岡山市との懇談を通じて、岡山市は、2021年から、保険証の取上げ（資格証の発行）を止めました。

保険証がなくて病院に行けないという最悪の事態が避けられることとなりました。岡山市の英断に心より感謝します。

それでも、まだ、高すぎる国保料のもとで「滞納」や「差押」の問題は残っています。私たちは、引き続き、この問題でも改善を求めています。